キラットさん

BEAMBITIOUS

『末は伊達か沢松か！？』

大館桂高校　2年

木　村　真由美さん

今はテニスが恋人なのだそう

お待たせしました。市内五高校のうち唯一の女子校、桂高校からのキラットさんです。このコーナーに女の子が登場するのを楽しみにしているのは、私だけではないでしょ？

木村さんは笑顔がさわやかな十七歳（昭和五十二年生まれ）。身長一五四㌢（その先はヒミツです）と小柄な体つきや優しそうな瞳から「体育会系」を連想する人はあまりいないかと思います。しかし、この女の子が伝統ある大館桂ソフトテニス部のキャプテンであることを既にチェック済みの人、意外に多いのではないでしょうか。

実は彼女、昨年八月に富山県で開催されたインターハイへ、ソフトテニスの秋田県代表として出場した実力者なのです。「何よりテニスが大好きなんです。試合をする時は、自分の全力を発揮できるように集中します。それができれば、勝っても負けても気持ちいいんですよ」。ひたむきになることの快感を知り、敗北を恐れない潔さを身につけた彼女の心には、一点の曇りもありません。

「友達には『あなたにはな～んにも悩みごとがないでしょう』と半ばあきれられているんです。自分では明るい性格なのだと思っていても友達は『のーてんきなんだ』って…」。日常の駆け引きにくたびれた大人から見ると、うらやましいほど純粋な彼女。青春期の一つの理想像といえるかも知れません。

札幌発 ➡ 大館着

前略　大館市民になりました ㊻

☆今回は有浦2丁目の高橋真澄さんご一家です。

Q・ご家族は何人ですか？

妻みどりと長男の真也（しんや）、次男の亮司（りょうじ）、三男の佑介（ゆうすけ）の五人です。

Q・どちらからおいでになりましたか？

昨年の四月に転勤で札幌市厚別区から来ました。

Q・大館の印象はいかがですか？

札幌と比べると雪が少ないですね。引っ越し当日、札幌では一㍍（メートル）もの新雪が降ったんですが、大館に到着したら雪がどこにも無かったので驚きましたよ。また、十和田湖や八幡平など、有名な観光地が近くにあるのはうれしいですね。

Q・食べ物や言葉はどうですか？

きりたんぽなべをこちらに来て初めて食べ、大好きになりました。近々、友人たちと一緒に炭火でたんぽを焼いて、手作りきりたんぽにチャレンジしてみようと思っています。

ハタハタもこちらに来て初めて食べました。でも、秋田名物だと思っていたハタハタは、秋田県では禁漁中なのだとか。現在おもにハタハタを水揚げしているのは、私が住んでいた北海道だと知って意外に感じました。

Q・大館にどんなことを望みますか？

道路の側溝にふたが無い個所が多く、大変危険だと思います。個人的には無散水消雪歩道より先に整備してもらいたいですね。

日本一の規模だと聞いていた大文字焼きは、祭り全体の盛り上がりが足りず、ちょっと拍子抜け、というのが偽らざる印象でした。主催者の一人よがりでなく、もっと集客を意識したイベント作りも大切かと思います。

真澄さんとみどりさん、前列左から長男の真也君、次男の亮司君、三男の佑介君